歌川國貞画

万亭應賀作

安政三年
丙辰初春
開鐫

倭文庫拾七編

へ13
3387
10

門へ 13
3387
10

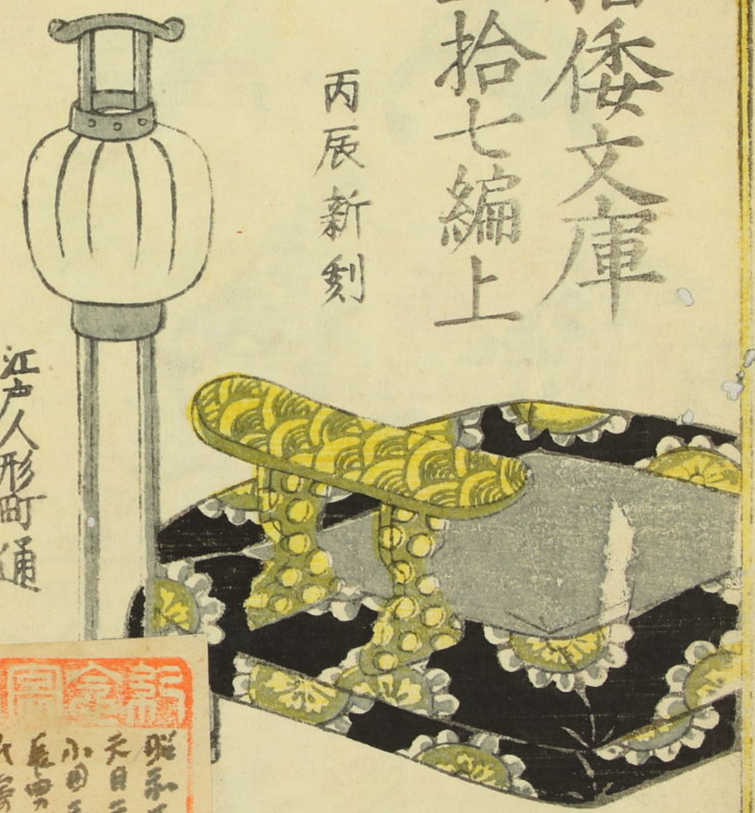
釋迦八相倭文庫

三拾七編上

丙辰新刻

万亭
應賀作

歌川
國貞画



江戸人形町通
上州屋重

昭和十六年
六月二日收
小田切直氏
長曲文太郎
氏寄贈

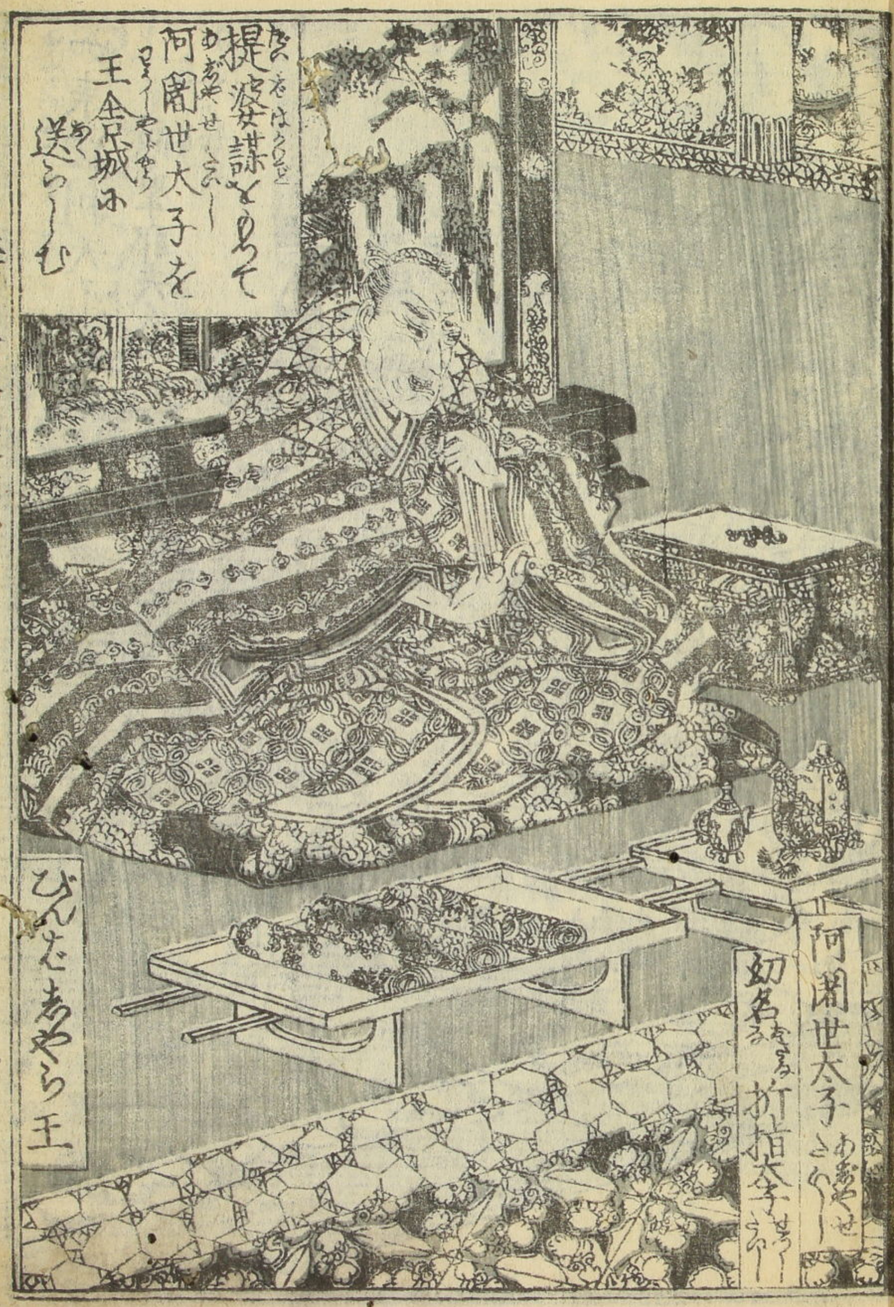
釋迦八相倭文庫三拾七編叙

夫佛を如来と云へ便漢語なり梵語にハ多他誐誐と訳
すれども如去と翻して如去とも云へり凡位より修行を経て正覚を成
乗如去なり名ハ如去なり成佛以後悲願力の名ハ施化乗如
来をもつて如来と申ハ亦ハ如去とも自證如来とも化他
の義なる訳とハ陳ブン和漢ン陀を如去〻〻歳〻序ハ白毛
ハ二文智慧心の味噌ハ筆の穂を摺る小木にして三千日夜
の恥と元旦ハ光をハ似くるも春毎の吉例ハ屠とを沼ぎろ
も変ハ亦我義中旧冬のきの夜惣身を拭ひもあへず費
言ハこと我く

安政四年
丁巳孟陽

万亭應賀述

いさりけ夫人


提婆謀とりて
阿闍世太子を
王舎城ゟ
送らしむ
阿闍世太子
幼名打指太子
びんだきやら王

摩耶夫人
帝釋天王
如来

法名
四

五十二
五

倭文庫出世双六　應賀作　豊國画

春の遊　将棋双六　同作　貞房画

男女振合　役替双六　同作　同画

拙者ものしるされあり

武家奉公出世双六　同作　豊國画

奥奉公出世双六　同作　画

子寶延命袋　同作　同画

紅摺全一冊

重榮御江戸繪圖

奉書四枚半

大寶御江戸繪圖

拙上摺奉書六枚半續

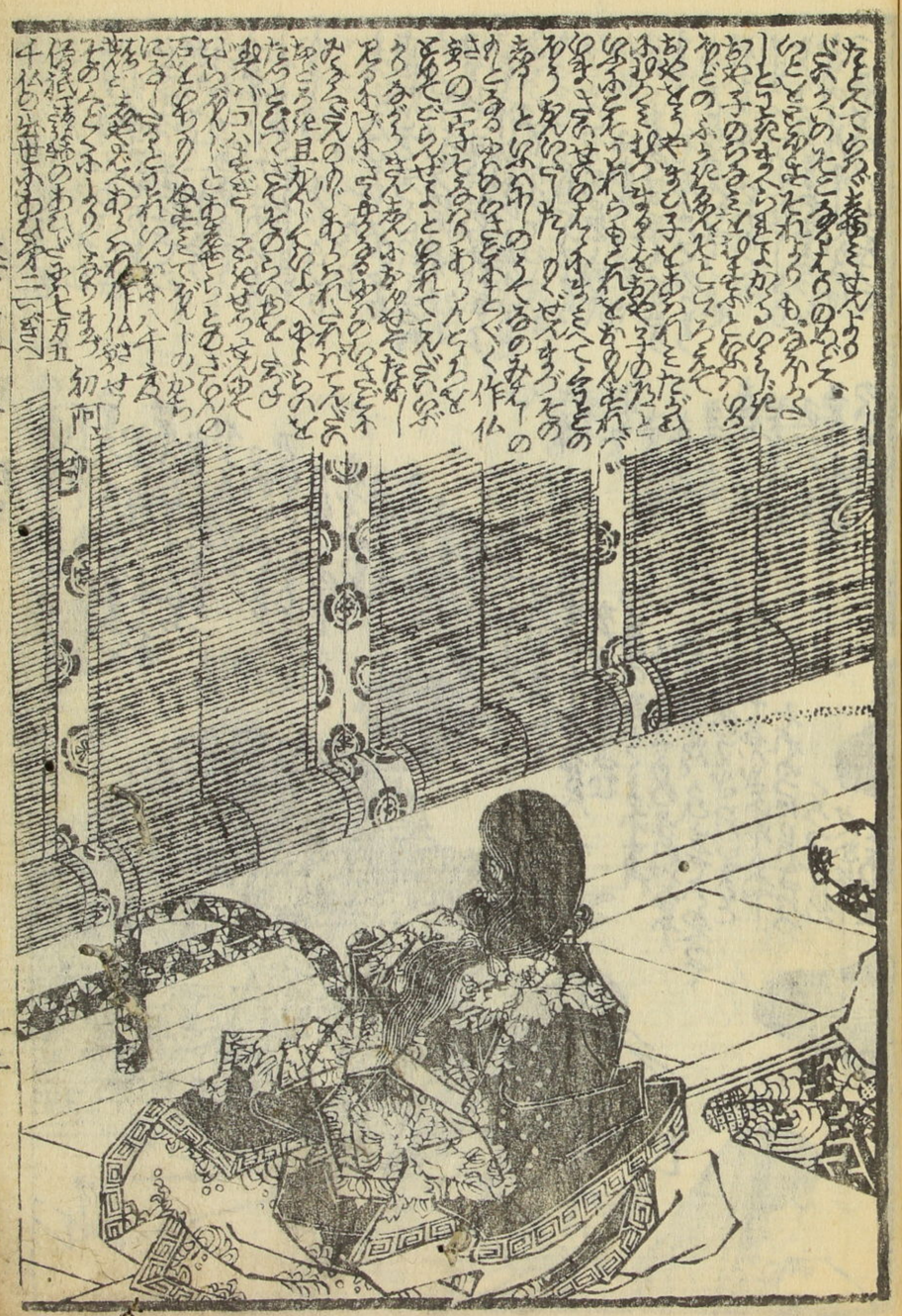
作題曲五周忌

錦重堂板

下

辰年
姫始め
辛七福下
庶笑作
国貞
画

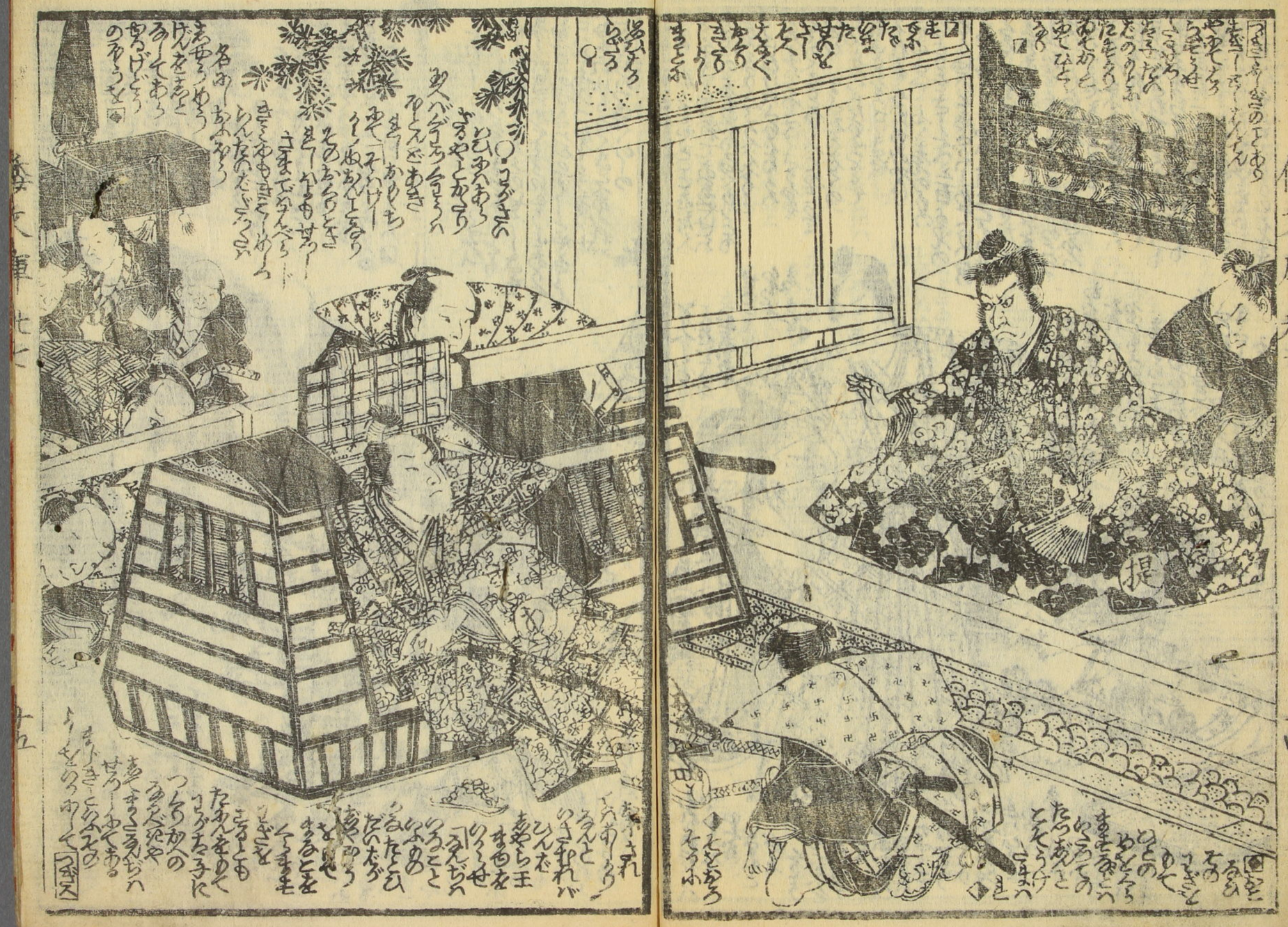
[illegible]

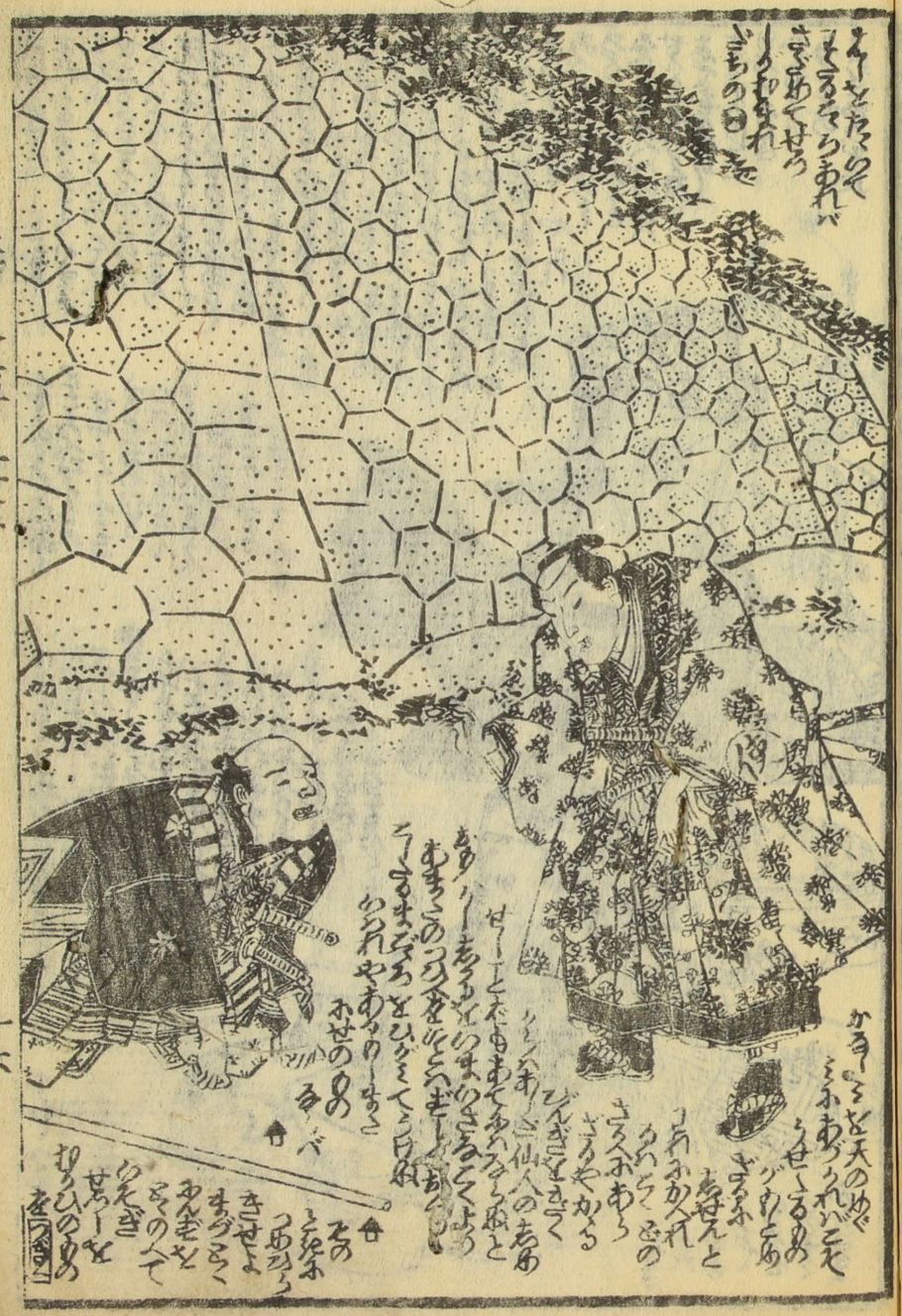


[illegible]

天

さ
さ
さ


提



月

提
使

侍

應賀作

文久四年甲子春新版目録

佳文庫

五十一編五十二編 乃亭應賀作
五十三編、五十四編 一陽齋豊國画

為永春水作
重井菱染別小紋 八編 大尾
歌川豊國画

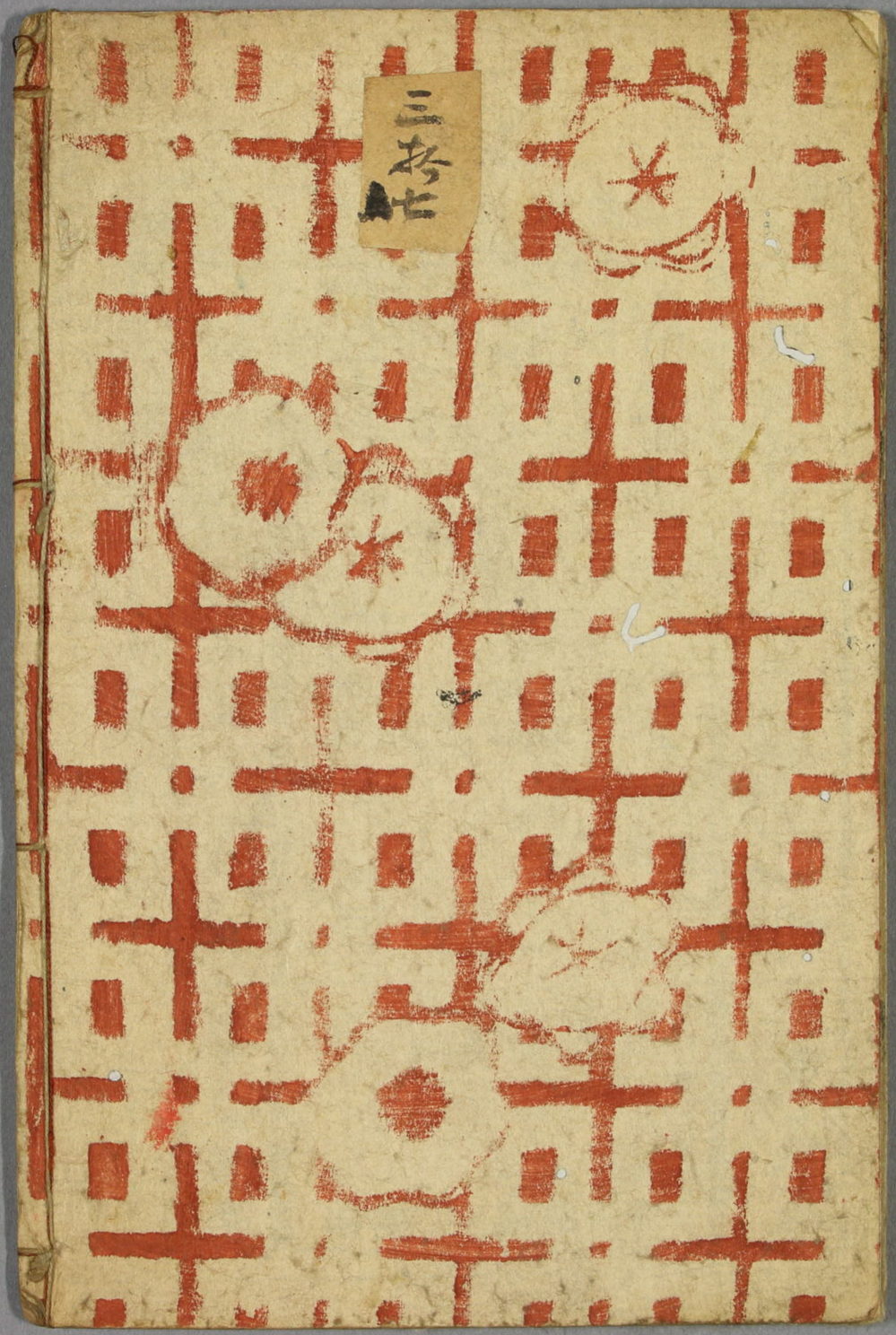
柳亭種彦作
新編朝日譚 二編 三編
一惠齋芳幾画

十返舍一九作
花山吹百人女郎 初編 二編
同 画

同 画
浦里のゆもの 五編 大尾

常磐津懐中本 初編二編 小本あり 三編四編 あり 極上品あり

金繪草紙本類問屋 人形町 上州屋重藏板


三拾七